

令和5年度東御市民病院重点事業の実績

1、プライマリケア

出産・誕生から最期の時を迎えるまでの健康上の問題や患者の疾病に対して、プライマリケアの視点で、全人的に対応する医療、福祉、保健サービスの提供体制を構築維持する。

(1) 診療体制

① オンライン診療、訪問診療など、患者や社会のニーズに対応した診療の検討

訪問診療医師の拡充	医師6人 <R4年度末4人>
オンライン診療（発熱以外）	・電話：2,202件 <R4年度3,060件> ・タブレット：0件 <R4年度0件>
発達外来の拡充	・医師3人（発達外来2人、ことばの外来1人） ・R5年7月～：臨床心理士1人（R6年7月～：作業療法士1人）
眼科手術の拡大	手術件数：304件 <R4年度218件>

② 新型コロナ感染症の5類への変更に伴う診療体制の再構築と、院内感染防止対策の徹底

診療体制	特例措置廃止に対応した診療体制を構築
院内感染防止対策	・感染対策委員会（毎月開催）において対策を決定し職員に周知 ・院内研修会：2回 ・R6年1月～：インфекションコントロールチーム（ICT）立ち上げ ※ICT…多職種で構成する組織横断的な感染対策の活動チーム

③ 時間外、1.5次救急に対応するための、診療体制の見直し

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
救急患者受入数	409件	531件	596件

(2) 各種業務の点検、最適化

① 医療安全（事故防止、機器安全管理、院内感染防止）管理の徹底と、職員への徹底

<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理委員会（毎月開催）において、事故防止の提言、感染防止対策、医薬品・医療機器安全等について、課題を提出し決定事項を職員に周知。周知後はラウンドを行い継続的な確認を実施 ・院内研修会：2回 ・院内ラウンド：週1回
--

② 病棟、外来、リハビリ室等の運営にあたり、関係する部署の業務連携の強化

R5年4月～：病棟運営会議、外来運営会議、リハビリ運営会議立ち上げ

③ 透析室業務のプロセスの点検と、再構築

<ul style="list-style-type: none"> ・R5年4月～：透析室会議への病院幹部の参加（R6年4月～：透析室運営会議立ち上げ） ・再構築に係る透析業務の分析をコンサルへ委託
--

④ 令和6年度の「働き方改革」施行に向けた、各職種単位での点検と業務体制の再構築

<ul style="list-style-type: none"> ・業務体制の再構築に向け、医師等の宿日直勤務の実態把握等を実施 ・医師について、宿日直勤務の許可を取得（R5年12月）
--

(3) 関係機関との連携

① 当院かかりつけ患者のフォロー体制など、病診連携の在り方の検討

連携会議	地域医療部会議：6回、認知症初期集中支援チーム員会議等：18回
患者意識の把握	患者満足度調査：1回

② 行政、企業から要望のあるサービス（人間ドック、検診、ワクチン接種等）の安定供給

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人間ドック、健康診断受診者数	2,456人	2,146人	2,140人
行政委託検診 受診者数	1,700人	2,051人	2,087人

③ 市が新たに整備する高齢者福祉拠点の、開設、運営への協力

・福祉課と病院の協力体制の構築に向けた協議を開始 ※高齢者センターで実施予定の介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービスC）への協力

2、地域包括ケアシステム

在宅療養支援病院として、訪問診療、緊急時の患者受け入れ、レスパイト入院などのサービス提供体制を安定して運営する。

(1) 在宅支援サービスの提供

① 在宅サービス（訪問診療、訪問リハビリ、在宅療養者の入院、看取り等）の提供態勢の強化

	令和3年度	令和4年	令和5年度
訪問診療（延べ人数）	病院 154人 診療所 900人	病院 170人 診療所 949人	病院 193人 診療所 1,203人
訪問リハビリ（延べ人数）	242人	608人	833人
看取り数	68人	69人	67人

② 在宅療養者への医療提供をスムーズにする、診療システムの検討

多職種連携会議及び地域医療部会議等で、福祉課地域包括支援係、医師、薬剤師の連携による診療システムの検討を実施
--

(2) 地域医療部

① 地域の医療機関との紹介、逆紹介など、病診・病病連携の充実、強化

	令和3年度	令和4年	令和5年度
紹介患者数	1,100人	934人	973人
逆紹介患者数	1,811人	1,837人	2,185人
連携室による連携機関訪問数	—	117施設	27施設

② 行政、その他職種と連携した、東御市版地域包括ケアシステムの見える化の推進

	令和3年度	令和4年	令和5年度
学習会講師（市民啓発）	—	10回	12回
市多職種連携会議	1回	4回	4回
市地域ケア推進会議	2回	1回	2回

3、教育、人材育成

(1) 職員教育

- ① 職員資質（知識、倫理）向上と、役職者能力（目標管理、問題解決）向上のための研修会の実施

一般職員研修	個人情報保護、メンタルヘルス、カスタマーハラスメント、医療安全、人材育成
管理職研修	マネジメント研修（キャリアラダー、マニュアルの作成）

- ② 適正、公平な人事評価の実施

院長・病院事業管理者による面談を年2回実施（5月、11月）

- ③ 当院が必要とする、看護職、技術職の専門資格の取得支援

感染管理認定看護師1人、認定看護管理者1人

(2) 市民啓発、広報

- ① FMとうみ、上田CATVを活用した、健康番組の定例放送

FMとうみ	令和5年度より毎週月～木曜日の午前中に5分番組を放送
上田ケーブルテレビ	11回撮影（FMの収録に併せて撮影）

- ② 病院ホームページのリアルタイム化と広報ひまわりの定期発行による情報発信

ホームページ	管理運営要領を定めたうえ、内容の総点検を実施
広報ひまわり	2回発行（7月、12月）

(3) 次世代人材との交流

- 次世代を担う研修医、奨学生、医学生、看護学生などの研修の受け入れ、交流の実施

研修医5名、医学生1名、看護学生12名、中学生職場体験8名を受入

令和5年度東御市病院事業 決算（速報値）

1、病院事業全体

（単位：千円）

収支項目	令和5年度	令和4年度	比較 (R5-R4)	R5決算の説明
事業収益 ①=㉔+㉕	2,062,607	2,151,387	▲ 88,780	
医業収益 ㉔	1,723,880	1,620,788	103,092	
(1) 入院収益	615,704	509,429	106,275	・入院制限緩和、受入体制整備による増
(2) 外来収益	863,518	860,207	3,311	・診療体制の充実等による増
(3) 他会計負担金	37,991	37,991	0	
(4) その他収益	206,667	213,161	▲ 6,494	・受託検査収益の減少
医業外収益 ㉕	338,727	530,599	▲ 191,872	
(1) 他会計補助金	0	1,717	▲ 1,717	・基準外繰入 ⇒ 0円 <計画目標値1.3億円以下>
(2) 他会計負担金	157,086	162,378	▲ 5,292	
(3) 長期前受金戻入	11,906	11,918	▲ 12	・基準内繰入 244,551千円
(4) 資本費繰入収益	49,474	47,040	2,434	
(5) その他収益	13,362	12,584	778	
(6) 補助金	106,899	294,962	▲ 188,063	・コロナ病床補助金 106,024千円
事業費用 ②=㉖+㉗	2,076,497	2,077,757	▲ 1,260	
医業費用 ㉖	1,966,072	1,956,011	10,061	
(1) 給与費	1,070,408	1,035,200	35,208	・職員の増加等による増
(2) 材料費	246,445	254,016	▲ 7,571	・診療材料費の減 ▲900万円
(3) 経費	464,535	482,185	▲ 17,650	・器械保守・検査外部委託の減 ▲1,100万円
(4) 減価償却費	180,111	152,515	27,596	・設備改修等に係る減価償却費の増
(5) 資産減耗費	1,859	28,452	▲ 26,593	・不要機器の廃棄の減
(6) 研究研修費	2,714	3,643	▲ 929	
医業外費用 ㉗	110,425	121,746	▲ 11,321	
事業損益 ①-②=㉘	▲ 13,890	73,630	▲ 87,520	

2、事業別収支

○病院3事業それぞれの決算状況は、下表のとおりです。

（単位：千円）

	収支項目	令和5年度	令和4年度	比較 (R5-R4)
市民病院	① 事業収益	1,857,645	1,956,186	▲ 98,541
	② 事業費用	1,868,848	1,875,636	▲ 6,788
	経常損益 ①-②	▲ 11,203	80,550	▲ 91,753
温泉診療所	① 事業収益	156,379	154,215	2,164
	② 事業費用	132,683	130,683	2,000
	経常損益 ①-②	23,696	23,532	164
助産所	① 事業収益	48,583	40,985	7,598
	② 事業費用	74,966	71,437	3,529
	経常損益 ①-②	▲ 26,383	▲ 30,452	4,069

令和6年度東御市民病院重点事業

【基本理念】

市民の健康を守り、暮らしを支える総合的かかりつけ医として「治し、支える医療」を提供します。地域に密着し、地域の未来を拓くコミュニティホスピタルを目指します。

1. 安全・安心な医療

- (1) 救急医療体制の強化
軽症から中等症まで、救急患者を受入る体制を強化します。
- (2) 病床機能の最適化
入院に柔軟に対応し、地域包括ケア病床による退院支援体制を構築します。
- (3) 新興感染症への備え
新型コロナウイルス感染症のみならず新たな感染症等を見据え、感染拡大に備えた取り組みを進めます。
- (4) 施設・設備の適正管理
 - ア 施設長寿命化計画の策定
施設老朽化が進む中で、施設利用の利便性の向上を考慮した修繕計画を策定します。
 - イ デジタル化への対応
電子カルテの更新を視野に入れた医療DXを推進します。
- (5) 情報セキュリティ対策・災害対策
 - ア サイバー攻撃や情報漏洩などのリスクに対応するため、情報セキュリティ対策の徹底を図ります。
 - イ サイバー攻撃や災害時を想定した業務継続計画（BCP）を策定します。

2. 全人的な医療の提供、地域包括ケアシステムの構築

- (1) 地域ネットワークへの参加
 - ア 地域の医療機関や介護施設、行政との連携を強化し、多職種協働に取り組みます。
 - イ 地域包括ケアシステムの拠点となる高齢者センターの事業へ参加・協力します。
- (2) 在宅医療の充実
在宅療養での急変時や看取りまで応じられるよう、医療、介護の連携を強化します。
訪問看護、訪問リハビリが提供できるよう、人員の配置と部署の協力体制を作ります。
- (3) 地域医療機関との連携
地域の診療所や福祉・介護施設との紹介・逆紹介などの向上を図ります。

3. 地域貢献、人材育成

- (1) 市民啓発、広報
ホームページのリアルタイム化、広報ひまわりの定期発行、健康番組を作成します。
- (2) 各種イベントへの参加、開催
 - ア 10/26に病院祭を実施し、ひまわり病院開院30周年を市民とともに祝います。
 - イ 巨峰の王国まつりなど、市のイベントに参加・協力します。
- (3) 職員教育
職員の資質向上と役職者の能力向上のため、各種研修を実施します。

4. 働き方改革の推進

- (1) 勤務時間の管理
職員の就労規則を整備し、適正運用を図ります。
- (2) 超過勤務の削減
業務手順を見直す等、業務効率の向上を図ります。
- (3) 適正人員の確保
新規採用者の確保や職員の定着率向上に向け、働き続けられる環境整備に取り組みます。

令和6年度東御市病院事業 予算

(単位:千円)

収支項目	令和6年度	令和5年度	比較 (R6-R5)	R6予算の説明
事業収益 ①=㊦+㊧	2,176,184	2,133,876	42,308	
医業収益 ㊦	2,039,291	1,747,051	292,240	・患者数等《別表1》
(1) 入院収益	768,000	642,000		
(2) 外来収益	990,000	853,000		
(3) 他会計負担金	37,991	37,991		
(4) その他収益	243,300	214,060		
医業外収益 ㊧	136,893	386,825	▲ 249,932	・基準外繰入 ⇒ 0円 <計画値1億円以下>
(1) 他会計補助金	0	0		
(2) 他会計負担金	76,009	76,009		
(3) 長期前受金戻入	11,737	11,669		
(4) 資本費繰入収益	36,000	36,000		
(5) その他収益	13,147	13,147		
(6) 補助金	0	250,000		
事業費用 ②=㊨+㊩	2,176,184	2,133,876	42,308	
医業費用 ㊨	2,152,034	2,100,937	51,097	・《別表2》
(1) 給与費	1,120,000	1,079,232		
(2) 材料費	285,020	297,611		
(3) 経費	573,262	538,488		
(4) 減価償却費	168,252	179,922		
(5) 資産減耗費	200	200		
(6) 研究研修費	5,300	5,484		
医業外費用 ㊩	24,150	32,939	▲ 8,789	・機器購入、施設整備《別表3》
事業損益 ①-②=㊰	0	0	0	

別表1「業務量の実績・計画」

(単位:人、%)

		令和4年度	令和5年度 (R5/R4)	令和6年度 計画
病院	入院延数	13,594	16,207 (119.2)	18,396
	病床稼働率	62.1	73.8	82
	外来延数	63,623	68,561 (107.8)	60,000
	透析延数	7,763	7,349 (94.7)	7,900
診療所	外来延数	10,787	11,960 (110.9)	11,138
	訪問診療実患者数	135	152 (112.6)	140
助産所	分娩者数	61	63 (103.3)	60
	ショートステイ	91	145 (159.3)	98

別表2「職員数」

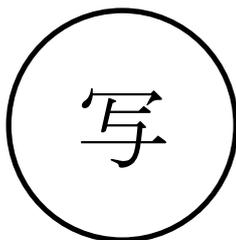
(単位:人)

	令和5年度末		令和6年6月現在	
	正職	会任職員	正職	会任職員
医師	8	3	9	4
看護職(病院、診療所、助産所)	46 (40、1、5)	44 (41、1、2)	47 (41、1、5)	45 (41、1、3)
技術職	22	7	23	7
事務職	5	13	5	13
計	81	67	84	69

別表3:「主な建設改良事業」

(単位:千円)

	令和5年度 実績		令和6年度 計画	
施設整備工事等	285,428	空調設備更新工事・工事監理	96,000	ボイラー室改修工事・工事監理
医療機器等整備	86,540	眼科手術用機器 X線撮影装置 ほか	79,000	血液遠心分離装置 超音波洗浄装置 高圧蒸気滅菌装置 ほか



東御市病院等運営協議会
会長 武藤芳照様

東御市長 花岡利夫

東御市病院事業第3次経営改善計画の進捗評価について（諮問）

東御市病院等運営協議会条例第1条の規定に基づき、次のとおり諮問します。

東御市病院事業第3次経営改善計画の令和5年度における進捗状況及び評価にあたり、貴協議会の意見を求めます。

（諮問理由）

市では、令和3年度から令和6年度までを計画期間とする「東御市病院事業第3次経営改善計画」に基づき病院経営の効率化、さらに新型コロナウイルス感染症への対応など、病院事業の改革に取り組んでおります。

本計画の策定時における貴協議会からの答申におきまして、「目標値に対する進捗管理を行い、PDCAサイクルを実行することで、本計画に基づく施策を着実に推進するとともに、進捗・効果検証の結果を広く市民へ分かりやすく公表していくこと。」との付帯意見をいただいておりますので、第3次経営改善計画の令和5年度における進捗状況及び評価について、貴協議会の意見を求めるものです。

＜令和5年度分＞
第3次経営改善計画の進捗状況及び評価

1、計画の進捗

(1) 病院3事業の状況

① 市民病院

ア 目標、役割

一般急性期から回復期の患者へ医療を提供するとともに、在宅医療を推進し地域包括ケアシステムを支えます。

イ 地域貢献

- ・ 県からの要請に基づき、病床を確保し、コロナ患者の受け入れを行いました。
- ・ 地域医療連携の観点から、地域のクリニックとの連携強化に取り組んでいます。
- ・ 救急車による搬送や時間外診療の要望に応えられるよう、救急受入体制の強化を図っています。

② みまき温泉診療所

ア 目標、役割

地域における総合診療を行うとともに、本市の地域包括ケアシステムの拠点として、在宅医療を提供します。

イ 地域貢献

- ・ 患者が希望する自宅療養に応えられるよう、訪問診療を実施し、更に訪問看護、訪問リハビリ等のサービス事業所と連携し、在宅生活を支援しています。

③ 助産所とうみ

ア 目標、役割

少子化・コロナ禍による産み控えがある中で、出産から育児まで、あたたかい心で寄り添う助産を提供します。

イ 地域貢献

- ・ 行政との連携により、妊産婦のメンタルケア、産後ショートステイ、育児サポートに取り組んでいます。

(2) 目標数値の状況

① 市民病院

ア 外来に関する特殊事情：発熱患者の診療について、2,202人をオンライン診療で実施しました。外来全体の患者数は68,561人で、前年度より約5,000人増加し、目標値に対して101.4%でした。

イ 入院に関する特殊事情：入院患者数は16,207人で、前年度より約2,600人増加しましたが、目標達成度は92.5%でした。

ウ 救急車：受入件数は596件で、前年度より74件増加し、目標達成度は121.6%でした。

エ ドック、健診：実施数は4,227件で、前年度より微増しましたが、目標値に対しては78.3%でした。

	内 訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
					目標値	実績	達成度	
患者数	人	外来延患者数 (うちオンライン診療)	54,939 (671)	58,426 (1,062)	63,623 (3,060)	67,600 -	68,561 (2,202)	101.4% -
		外来一日平均	226.1	242.0	261.8	279.3	282.1	101.0%
		入院延患者数 (うちコロナ病床)	14,561 (60)	15,940 (467)	13,594 (649)	17,520 -	16,207 (355)	92.5% -
		入院一日平均	39.9	43.7	37.2	48.0	44.3	92.3%
病床利用率	%	病床利用率	66.5	72.8	62.1	80.0	73.8	92.3%
救 急	件	救急車受入件数	326	429	522	490	596	121.6%
	%	救急車受入率	62.0	64.0	64.0	70.0	66.0	94.3%
ドック・健診	件	件 数	4,830	4,156	4,197	5,400	4,227	78.3%
参考：コロナ検査	件	-	332	2,473	7,572	-	5,423	-

② みまき温泉診療所

ア 外来：患者数は11,960人で、前年度より約1,200人増加し、目標達成度は108.7%でした。
 イ 訪問診療：患者数は1,203人で、前年度より約250人増加し、目標達成度は133.7%でした。

項目	内 訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
					目標値	実績	達成度	
患者数	人	外来延患者数	10,506	11,296	10,787	11,000	11,960	108.7%
		外来一日平均	39.3	42.4	40.5	40.7	45.0	110.6%
		訪問延患者数	650	900	949	900	1,203	133.7%
参考：コロナ検査	件	-	200	57	631	-	-	-

③ 助産所とうみ

ア 分娩：分娩数は63件で、前年度より2件増加し、目標達成度は100%でした。
 イ ショートステイ：受入れ日数は396日で、前年度より133日増加していますが、目標値に対しては79.2%でした。

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
				目標値	実績	達成度
分娩件数 (件)	60	55	61	63	63	100.0%
産後ショートステイ (延日)	249	229	263	500	396	79.2%

(3) 経営収支

ア 収入：診療体制の充実、入院受入体制の強化、整備等により医業収益が前年度より約1億円増加しました。また、コロナ専用病床の確保による入院の収入減額を補うための補助金が約1億円交付されました。
 イ 支出：材料費、経費、資産減耗費等が前年度より抑えられた一方で職員の増加等により給与費が約3,500万円増加しています。また、施設の老朽化による改修や大型機器の更新等により減価償却費が約2,700万円増加しました。
 ウ 経営収支：市単独の経営補助金（基準外繰入）は繰り入れをせず、赤字決算としました。

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
				目標値	実績	達成度
一般会計からの基準外繰入の額	1億6000万円	0円	0円	1億3,000万円以下	基準外繰入 0円	達成

2、評価

(1) 自己評価

① 病院3事業の取り組みに関して

令和5年度においては、5類となった以降も引き続き感染が続いていたコロナ患者の受け入れや、積極的な救急受け入れを行い、公立病院としての役割を果たしました。
 診療体制の充実、入院患者受入体制の強化、整備及び在宅医療の拡大を行い、コロナ禍以前よりも広く充実したサービスの提供が図られました。

② 目標値の達成度について

新型コロナの流行など社会情勢などの変化により、当初に第3次経営改善計画に設定した目標値が、現在の状況に適応していない項目が見受けられます。
 このような状況において、設定した目標値を達成できなかった項目もありますが、全ての項目において前年度から実績値（成果）の上積みが図られています。

③ 経営収支

令和5年度の経営収支は赤字となりましたが、赤字分についてはこれまで積み立ててきた利益剰余金を取り崩すこととし、基準外繰入金を繰り入れなかったため、数値上の目標は達成しました。

(2) 委員による評価

① 意見

--

② 評価判定

令和5年度評価		※評価の標語 A：達成した B：概ね達成した C：やや達成していない D：達成していない
---------	--	--

令和6年7月1日

東御市長 花岡利夫様

東御市病院等運営協議会
会長 武藤 芳照

東御市病院事業 第3次経営改善計画の進捗評価について（答申）

令和6年7月1日付け6病第5号により、当協議会に諮問のありました「東御市病院事業第3次経営改善計画の進捗評価」について、慎重に審議をした結果、下記のとおり答申します。

なお、下記のとおり附帯意見を付します。

記

諮問された進捗評価については、「A」が妥当である。

附帯意見

- 1 病院・診療所及び市の関係部署と連携・協働して、地域包括ケアシステムの充実を推進されたい。
- 2 市民啓発、広報活動を強化するとともに、地域の次世代人材の育成を図られたい。